



クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2023年10月16日

【円建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド 9~25号
【ロシアルーブル建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド 9~28号
【ユーロ建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド 1号~3号
の運用状況につきまして
(2023年10月期)

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。掲題のファンドシリーズ各号（以下、「本ファンドシリーズ」といいます。）につきまして運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】

<修正契約書の締結>

ロシアによるウクライナ侵攻後、特にロシア政府およびロシア中央銀行による送金規制の影響で、融資金の返済が1年超中断されています。

その状況下で、2023年9月末にエストニアグループ会社（後述）は、貸付先のLIME社グループ（後述）と修正契約書を締結し、カザフスタンや香港など第三国を経由地とする代替の送金ルートおよび返済スケジュールの再編を定めました。ただし、返済の再開時期は依然として不透明です。

<利息の一部免除>

上記の修正契約書締結に際して、エストニアグループ会社はLIME社グループの2022年3月以降の利息および延滞利息の支払義務を免除しました。これは他の債権者の動向を踏まえた選択であり、そう判断するに至った経緯を「3. 2023年9月に締結した修正契約書においてLIME社グループの利息を一部免除するまでの経緯」に後述しています。

<LIME社グループの状況>

2023年第2四半期までの財務諸表を確認する限り、貸付先のLIME社グループは再度事業拡大を果たしており、エストニアグループ会社はLIME社グループの事業継続に当面は懸念がないものと捉えています。しかし、ロシアに関連する不確実性は依然として大きく、今後の事業環境次第ではLIME社グループの債務返済能力が低下する可能性もございます。

1. 出資対象事業の概要 - ご投資いただいた出資金の用途

- (i) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます。）は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社（Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行いました。
- (ii) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、キプロス共和国に籍を置く金融事業者である LIME CREDIT GROUP LIMITED（以下「LIME 社」といいます。）へ貸付けを行いました。
- (iii) LIME 社への貸付けに対しては、LIME 社グループの中核企業である MICROFINANCE COMPANY “LIME-ZAIM” (LIMITED LIABILITY COMPANY)社（以下「LIME Russia 社」といいます。）が債務保証を行っています。

2. 新しいトピック

(1) 修正契約書の締結

エストニアグループ会社は 2023 年 9 月末、LIME 社グループとの間で代替の送金ルートおよび再編後の返済スケジュールを定める修正契約書を締結しました。本レポートの配信時点では、その修正契約書に基づき、LIME 社グループが第三国を経由して返済を再開できるように準備している段階です。

(2) 香港を経由する送金ルートの追加検討

エストニアグループ会社は、代替の送金ルートとして、ロシアの非友好国ではない第三国を経由するルートを優先的に検討してまいりました。前回配信までのレポートではカザフスタン経由の送金についてお伝えしていましたが、カザフスタンに加えて香港なども経由地の候補とすることで合意しています。

ただし、第三国を経由する場合であっても、海外送金が実行できるかはロシア中央銀行、カザフスタン等規制当局の判断に左右される可能性があり、実際に返済が再開できるかは依然として不透明です。また、毎月の送金に上限額があることから、仮に返済を再開できても少額ずつにとどまる見込みです。これにより本ファンドシリーズの回収は長期化する可能性がございます。

(3) 利息の免除

上記の修正契約書を締結するにあたり、エストニアグループ会社は、LIME 社グループの 2022 年 3 月以降の利息および延滞利息の支払義務を免除しました。その判断までの経緯は、後述する「3. 2023 年 9 月に締結した修正契約書において LIME 社グループの利息を一部免除するまでの経緯」をご覧ください。

3. 2023 年 9 月に締結した修正契約書において LIME 社グループの利息を一部免除するまでの経緯

エストニアグループ会社は従前より、LIME 社グループから、不可抗力による履行不能等を理由として、ロシアがウクライナに侵攻した 2022 年 2 月の末日を最後に利息計算を停止して 2022 年 3 月以降の利息および延滞利息を免除するよう要請を受けていました。

エストニアグループ会社はこの要請に対し、本ファンドシリーズに関する回収額の減少につながる一方的な提案であること等から、受入れを拒んでまいりました。

しかし、その後エストニアグループ会社が他の債権者と情報を交換するなかで、ロシア国外の債権者の中に、LIME 社グループに対して大幅な譲歩を提示する代わりに、他の債権者に先んじての返済を約束させた債権者がいると判明しました。具体的な譲歩内容として、利息および延滞利息を免除するだけでなく、LIME 社グループの為替ヘッジコストを肩代わりしていることも確認しています。

上記の債権者は、2022 年終わり頃より LIME 社グループから月次の少額返済を受け始めています。これを受けてエストニアグループ会社は、LIME 社グループの 2022 年 3 月以降の利息および延滞利息支払義務を免除してでも、他の債権者に回収で後れをとらないことが得策だと判断し、2023 年 9 月に修正契約書を締結する段階で利息の一部免除を受入れました。なお、利息および延滞利息を免除しても、本ファンドシリーズの元本部分および 2022 年 2 月末までの経過利息を受け取る権利は確保されることも判断要素の一つとして考慮しています。

4. LIME 社グループの現状

(1) 事業活動地域

LIME 社グループは、ロシア、南アフリカおよびメキシコで個人向けの短期ローンを取扱う金融事業者グループで、ロシア事業がグループ収益の大半を占めています。

(2) LIME 社グループの事業の状況

グループ収益の大半を占める LIME Russia 社は、ロシアのウクライナ侵攻直後に個人向けの融資実行を大幅に絞り込み、事業拡大を前提とした経営計画の見直しなどに着手しました。ウクライナ侵攻から 1 年超が経過した現時点においては、当初想定したほどロシアのマクロ経済環境の悪化が深刻でないことから、徐々に事業運営を正常化しています。2023 年第 2 四半期までの財務諸表を確認する限りでは、LIME Russia 社は再度事業拡大を果たしており、一定の最終黒字も確保しています。

なお、LIME 社グループの資金調達に関して、エストニアグループ会社をはじめとするロシア国外の債権者が融資をすべて停止するなかで、代替手段としてロシア国内の銀行から借入れ枠を獲得し、当面の事業運営資金を確保しています。

(3) LIME 社グループの為替リスクの状況

LIME 社グループは、本ファンドシリーズに関するローンをはじめとする一定の外貨建て債務を抱える一方、収益の大半をロシアルーブル建てで計上しています。そのため、ロシアルーブルが下落した場合には外貨建て債務の実質的な負担が増して、債務返済能力が低下する可能性がございます。現時点では、ロシアルーブルのユーロ、円など外貨に対するレートがロシアのウクライナ侵攻直前と同程度あるいはやや低い水準で落ち着いています。

(4) LIME 社グループの今後について本営業者の見解

現時点で 2023 年第 2 四半期までの財務諸表を受領・確認し、ウクライナ侵攻直後に想定したほどにはロシアのマクロ経済環境と LIME 社グループの財務内容が悪化しておらず、同侵攻前と同様に事業運営を継続することが可能であると考えております。また、ロシア国内での資金調達によって、資金繰りに関する当面の懸念が後退したとも捉えております。

しかし、ウクライナの戦局や日米欧をはじめとする各国の対ロシア経済制裁の動向が流動的ななかで、LIME 社グループの事業環境が悪化に転じる場合やロシアルーブルが対ユーロ、対円で下落に転じる場合には、一定額が回収不能となる可能性があると考えております。

5. 今後の回収見通し

上述の通り、本ファンドシリーズの返済再開の時期は依然として不透明な状況が続いております。また、仮に返済が再開されたとしても毎月の返済額は少額にとどまるため、本ファンドシリーズの返済履行は複数年にわたる可能性がございます。

本営業者は 3 か月に一回程度を目安に本ファンドシリーズの最新状況をご報告申し上げる予定です。ただし、本営業者の判断で、3 か月を待たずに速やかにご報告する場合がございます。

投資家のみなさまにおかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住 所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号